



地域ニュース 10月号 第326号

発行 江古田区民活動センター運営委員会
 住所 〒165-0023 中野区江原町 2-3-15
 電話 3954 - 6963
 FAX 3954 - 6964
 E-mail: nakano_egota@lagoon.ocn.ne.jp
 http://www.nakano-egota.gr.jp

10月開催 江古田地区まつりスケジュール

3日(土)・4日(日)	獅子舞行列
17日(土)	ダンスパーティ
23日(金)	ゲートボール大会
24日(土)	こどもまつり
24日(土)・25日(日)	作品展
25日(日)	模範店 地区委員会展 芸能祭・お茶会 コーヒーシヨップ 消防相談・体験コーナー 介護相談コーナー

第40回江古田地区まつり



中野区指定無形民俗文化財
江古田獅子舞

【会場】の記載のないものは、江古田区民活動センターにて
 【主催】江古田地区まつり実行委員会

10月3日(土)・4日(日)

江古田獅子舞

【会場】江古田氷川神社ほか
 ※詳細は2面記事

10月17日(土)

ダンスパーティ

クラリネット奏者田村基央さんの生演奏があります。
 【時間】午後1時30分〜3時30分

【参加費】1000円(お茶菓子代)
 ※ダンスシューズまたは室内運動靴をご用意ください。女性の方はヒールカバーをご使用ください。

10月23日(金)

ゲートボール大会

江古田地区の老人クラブなどの対抗戦が行われます。
 【時間】午前8時45分〜午後3時



平成26年ダンスパーティ

【会場】江原公園(江原町1-15)

10月24日(土)

こどもまつり

木工工作、生け花体験、「もったいないランド(リサイクル工作、古本市等)」他。幼児から参加できます(幼児は保護者同伴)
 ※靴や木工作品などを入れる袋をお持ちください。
 詳細はポスター・チラシにて

【時間】午後1時30分〜午後4時

10月24日(土)・25日(日)

作品展

絵手紙・俳句・手芸・和服リフォーム・生け花・吊るし雛

【時間】午前10時〜午後4時



平成26年作品展



平成26年こどもまつり

地区委員会展

子どもたちの健全育成に取り組んでいる青少年育成江古田地区委員会の活動の記録や写真を展示します。

【時間】午前10時〜午後4時

模 擬 店

リサイクルバザー、おしるこ(24日)、カレーライス(25日) 江古田ボランティアネットワークによる出店

【時間】 午前11時〜午後2時

10月25日(日)

芸 能 祭

舞踊、カラオケ、詩吟、フラダンス、コーラス、童謡、など。 【時間】 午前10時〜午後4時30分

お 茶 会

和室で本格的な茶の湯体験をどうぞ。今年椅子席もご用意します。

石井美香先生(表千家)指導。お茶券(500円)は、江古田区民活動センターで10月14日(水)から前売り、50人限定 【時間】 午前11時〜午後3時



「平成26年江古田地区まつり」

コ ー ヒ ー シ ョ ッ プ

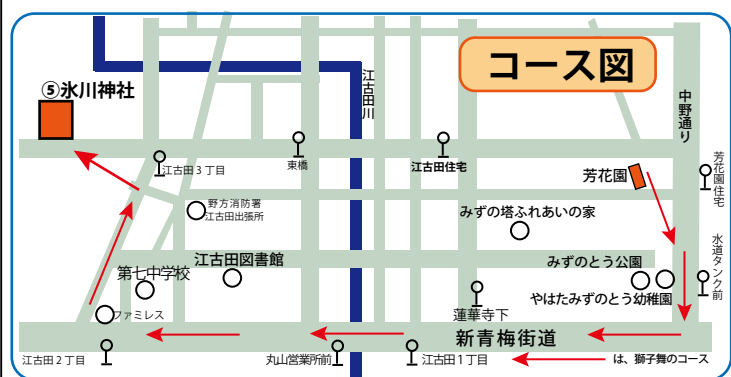
【時間】 午前11時〜午後3時

消 防 相 談 ・ 体 験 コ ー ナ ー

野方消防署江古田出張所による消防についての相談・体験コーナーを開設します。 【時間】 午前10時〜午後3時

介 護 相 談 コ ー ナ ー

中野北地域包括支援センターの協力による介護相談です。 【時間】 午前11時〜午後3時 ※【会場】の記載のないものは、江古田区民活動センターにて 【主催】 江古田地区まつり実行委員会



江 古 田 獅 子 舞

(中野区指定無形民俗文化財) 江古田獅子舞は、約700年の伝統を持つ郷土芸術です。 10月3日(土)の獅子舞行列町内廻りは、今年は丸山塚公園(沼袋2)を午後2時に出発し、江古田四丁目界隈を練り歩きます。(雨天中止)

4日(日)は、行列が正午に芳花園を出発し、江古田氷川神社へ向かいます(上記コース図参照)。なお、交通規制により、獅子・花笠・四神・笛楽士は、11時45分頃先に出発し、江古田一丁目神酒所で奉納舞の後、12時10分頃、江古田1-1-1先にて行列に合流します。

新青梅街道をとり午後2時頃、江古田氷川神社に到着し、午後10時頃まで奉納舞が続きます(雨天の場合、行列は中止ですが、舞は神社で行います)。一幕50分ほどで、休憩をはさみながら被り替えし、今年は七幕行われます。

奉納後、再び芳花園まで戻ります。旭公民館の氏子から江古田一丁目の氏子へと引継ぎ、獅子を見守りながら帰ってきます。夜の12時近くまで及ぶこともあるそうです。 【主催・問合せ】 江古田獅子舞保存会(江古田区民活動センター取次)

新 江 古 田 今 昔

第6回

江古田地域ニューズ平成3年3月号(123号)から抜粋しておおくりします。 セピア色の江古田 父のアルバムから

新 水 道 道 路 の 頃



新水道道路の頃

昭和35年の春、旭建設付近(江古田2-10)から見た新青梅街道です。中央付近が区立七中のある所です。学校もまだ体育館がなく、柵も低かったようです。桜の樹もまだ細く、それでも精一杯に咲いています。現在のように道路の両側にはツツジも植えられてはいませんでした。ここにはまだ信号もありません。

遠くに水道タンク(現在の震災対策用応急給水施設)が丸見



現在の江古田2-10付近 左端が旭建設と酒屋(カクヤス)のあるビル

えという感じで小さく見えています。鉄筋のビル等は一つも見えません。現在、同じ所に立って見ると、桜並木がトンネルのように枝を広げていますし、沢山のビルが建って、あの高台に建つ背の高い水道タンクすら見ることができません。たった30年で交通量は増え、道を横切るにも信号のある所でしか渡れなくなってしまうました。まるで川を挟んだ兩岸のように行き来が切られてしまっています。 大正時代に妙正寺川の水を引いて、氷をつくって東京へ売ったと言われる付近には、昭和26年9月10日に関東バスの丸山営業所ができて、昔の話も溶けて消えていきました。(故岩淵文人・玉川大学図書館 資料室長/江古田二丁目)